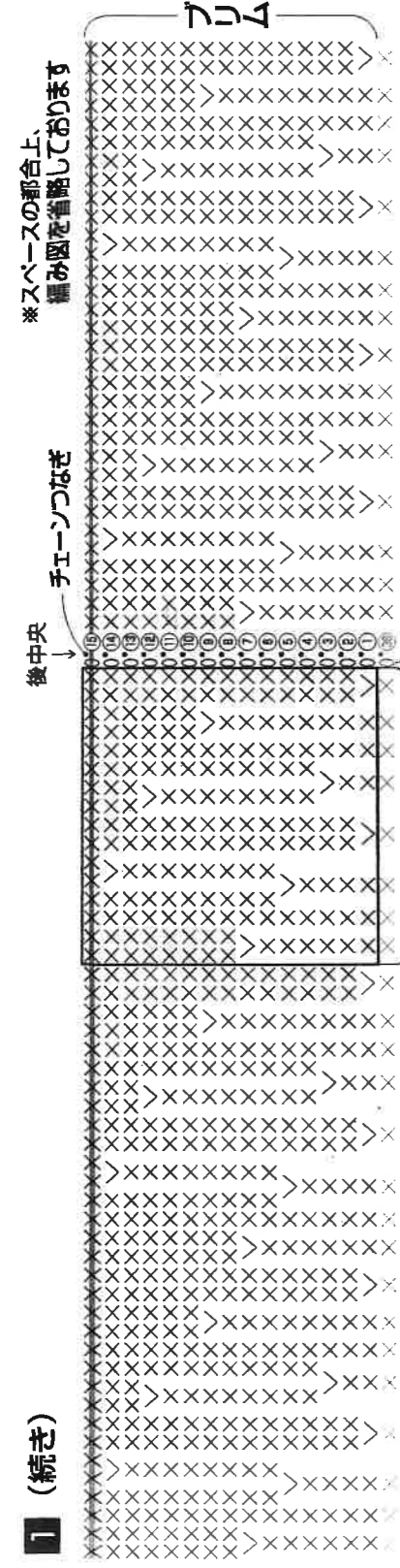


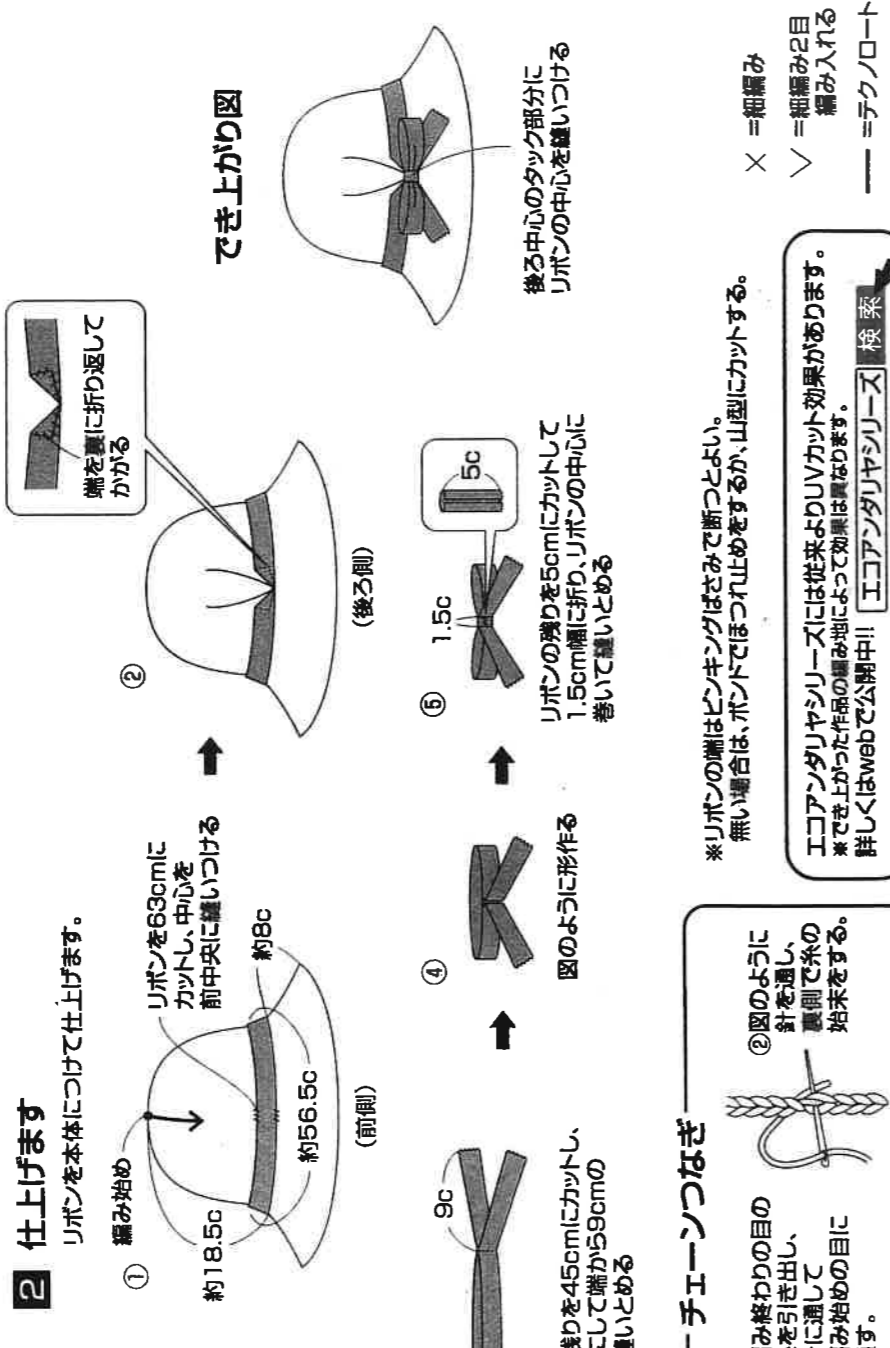


テキスト⑫ タック入りのストローハット

- ☆でき上がり寸法 頭まわり約56.5cm
- ☆使用糸 エコアンダリヤ (40g玉巻)
- ☆副資材 ・ハマナカテクノロト (形状保持材) (H204-593).....約105cm
・ハマナカ熱収縮チューブ (H204-605).....約5cm
- ☆付属品 グログランリボン (幅3.5cm・黒) 113cm
- ☆用意するもの 縫い糸(黒)、縫い針
- ☆使用針 ハマナカアミアミ片かぎ針5/0号、毛糸とじ針 (H250-706)6本1組



段	目数	増減
15	176目	増減なし
14	176目	11目増
13	165目	増減なし
12	165目	11目増
11	154目	増減なし
10	154目	11目増
9	143目	増減なし
8	143目	11目増
7	132目	増減なし
6	132目	11目増
5	121目	増減なし
4	121目	11目増
3	110目	増減なし
2	110目	22目増



チェーンつなぎ

① 編み終わりの目の糸を引き出し、針に通して編み始めの目に通す。

② 図のように針を通し、裏側で糸の始末をする。

仕上げます

リボンを本体につけて仕上げます。

① 編み始め 約18.5c

② リボンを63cmにカットし、中心を前中央に縫いつける 約8c

③ 9c

④ 図のように形作る

⑤ 1.5c

⑥ 5c

リボンの残りを45cmにカットし、二つ折りにして端から59cmのところを縫いとめる

でき上がり図

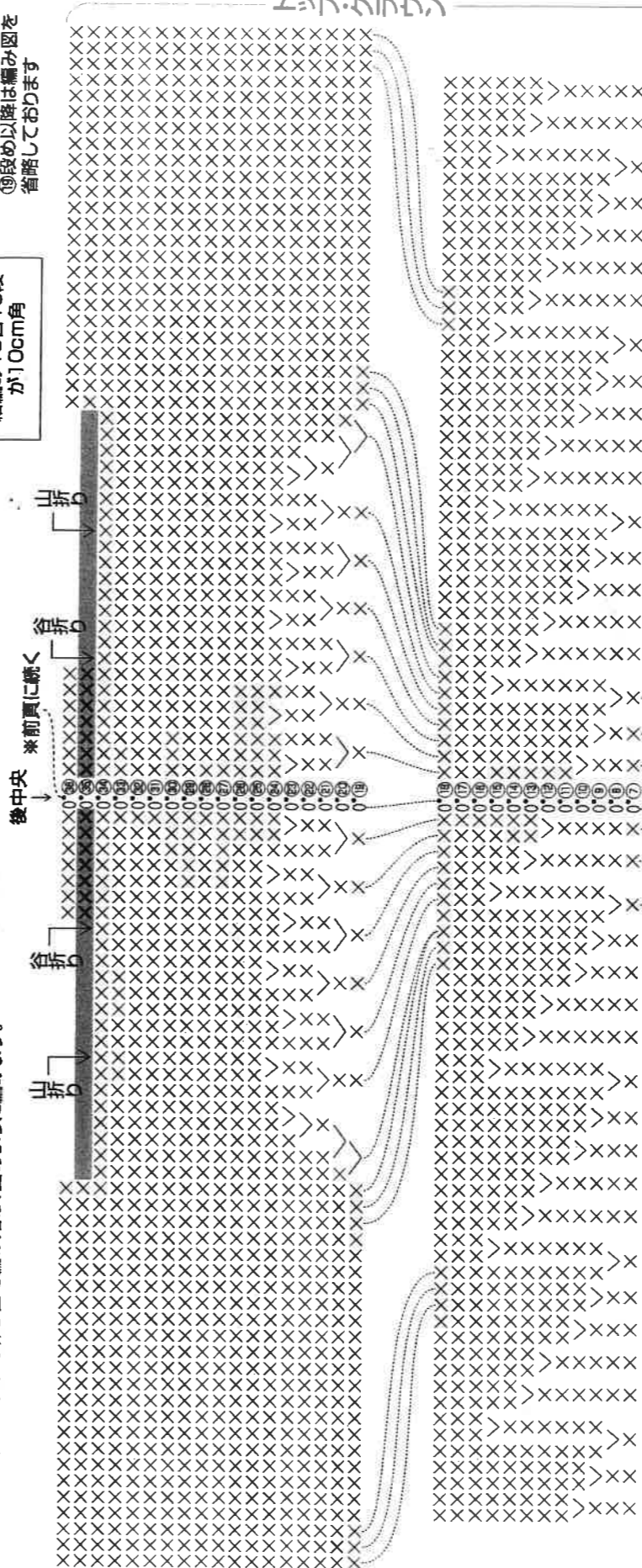
後ろ中心のタック部分にリボンの中心を縫いつける

× = 細編み
∨ = 細編み2目 編み入れる
— = テクノロト

1 本体を編みます

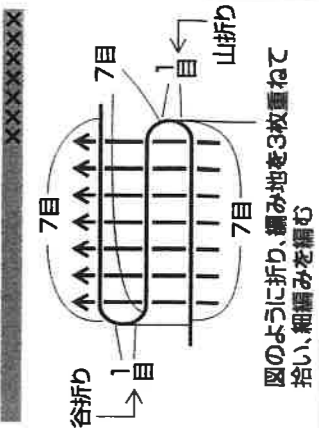
糸は1本どりで、わの作り目で編み始め、図のように編みます。

本体 (1枚)

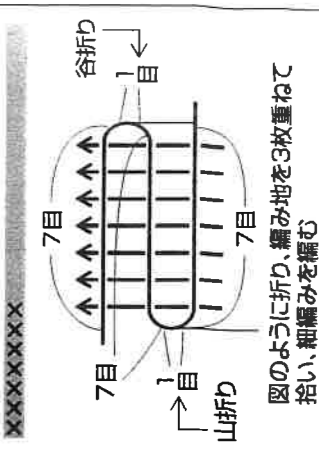


段	目数	増減
14	80目	増減なし
13	80目	増減なし
12	72目	毎段8目増
11	64目	増減なし
10	64目	増減なし
9	56目	毎段8目増
8	48目	増減なし
7	40目	増減なし
6	40目	増減なし
5	32目	毎段8目増
4	24目	増減なし
3	16目	増減なし
2	16目	8目増
1	8目	わの中に細編み 8目編み入れる

タック部分の編み方 (編み始め)

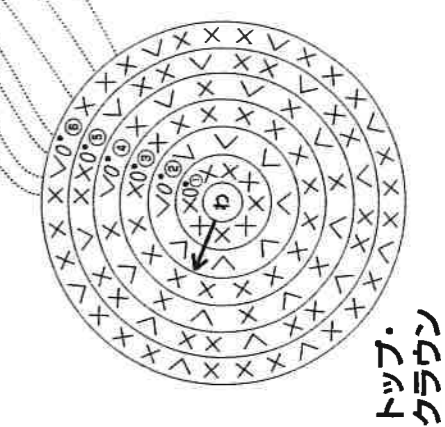


タック部分の編み方 (編み終わり)



× = 細編み ∨ = 細編み2目 編み入れる

トップ・クラウン

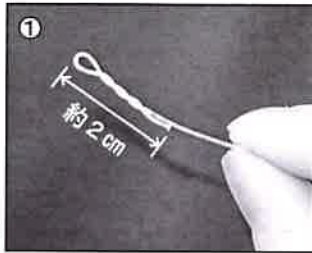


図のように折り、編み地を3枚重ねて拾い、細編みを編む

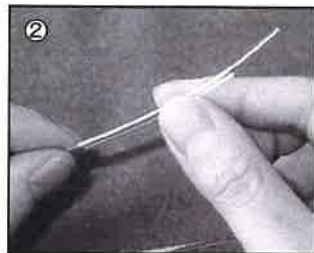
図のように折り、編み地を3枚重ねて拾い、細編みを編む

テクノロートのつなぎ方

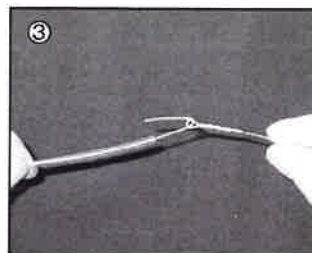
※実際は、プリムの⑩段めを編んでいる途中でつなぎます。



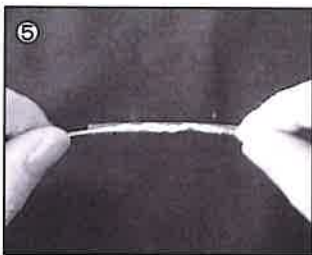
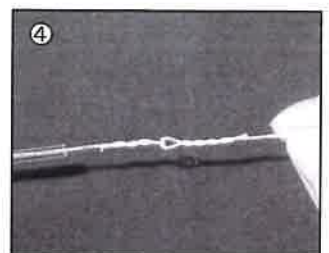
① まずテクノロートを端から2cm前後の所で折り曲げ、数回ねじります。



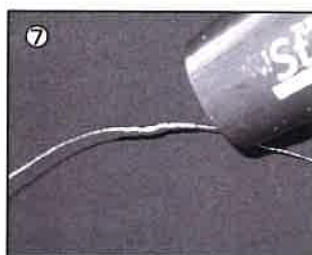
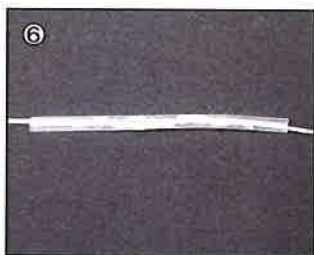
② もう一方のテクノロートに熱収縮チューブ(以後:チューブ)を通しておきます。
※チューブは約5cmにカットします。



③~④ ①と同様に端から2cm前後の所で折り曲げ、①でできた輪の中を通し、数回ねじります。



⑤~⑥ テクノロートをねじった部分にチューブをずらし、ねじった部分を全て覆うようにチューブをかぶせます。



⑦ ドライヤーでチューブ全体を加熱し、収縮させます。

[ドライヤーをあてる時の注意]

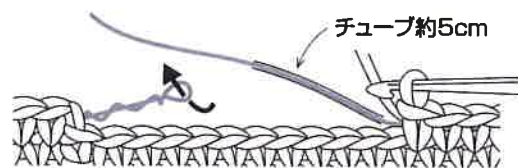
- (1) 加熱時間は1分程度が目安ですがドライヤーの温度により、多少異なります。
- (2) チューブが収縮しない場合は、ドライヤーを近づけて下さい。(近づけすぎにご注意下さい)
- (3) ドライヤーを長時間あてたり、近づけすぎると、チューブだけでなくテクノロートも溶けてしまう可能性がありますので、様子を見ながらあてるようにして下さい。

※熱収縮チューブが折れても、品質上問題はありません。

テクノロートの編みくるみ方



① あらかじめテクノロートを約2cm折り返して輪を作り、ずれないように糸などで止めてから編み始めます。



② 編み終わりまで約5cmになったら、テクノロートにチューブを通します。帽子の形をざっと整えて編み始めの輪までの長さプラス2cmを残してカットし、編み始めの輪につなぎます。
※ **テクノロートのつなぎ方** 参照



③ 通しておいたチューブをテクノロートのねじった部分にかぶせてドライヤーで収縮させます。
※ [ドライヤーをあてる時の注意] 参照



④ 編み図の通りに続きを編み、仕上げます。